

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ハヤマ信仰 (お山かけ)		
伝承地域	飯舘村大倉		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>福島県内にはハヤマと呼ばれる秀麗な山が点在し、豊作を祈る信仰がある。ハヤマは阿武隈山地に多く分布し、羽山、葉山、端山、麓山などの字をあて、奥山に対する端山の意である。信仰の対象は山そのもので、古態を保つものには社殿はない。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>翌朝、齋食し、それが済むと、「箸集め」の行事に入る。籠もり人が四つんばいになり、馬に乗った先頭の子どもが「下にようれ」といいながら、箸を集める。後に二人が、梵天を手にして続く。殿様行列を真似たものだという。</p> <p>次に、本堂で読経。一同で「サンゲ、サンゲ」と三度唱和。僧侶の法螺を合図に葉山に向かって出発。まず、福善寺の上の山津見神社を拝し、次に、草野、枳窪へ行く分かれ道で再び拝す。また、三叉路のところで愛宕神社を、その近くの行屋を拝す。途中、田植え踊りを奉納しながら進む。箸神様に食事に使用した箸を納め、弁天様を拝す。地藏堂を通り本殿につき、福善寺の方に向かって拝む。持参した梵天、注連縄は、社殿近くの榎の木にくくりつけ、包に入れた供え物は屋根にのせる。この梵天、注連縄が、相馬の方に風で飛ばされると、豊作だといって喜ぶ。</p> <p>社前で、一通りの神事を行い、戻って精進あげと称して、直会 (なおらい)。これで、ハヤマ祭りの一切の神事が終わる。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯舘村教育委員会	電話0244-42-1611	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個 氏名 (ふりがな)		顔写真がありました
-------------	--	-----------

	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女                      歳 明治・大正・昭和・平成                      年    月    日 生	たら、コピーか電子 ファイルをご恵与 願います。(貼り付 けずに、名前がわか るようにして同封 ください。)
	住所・電話	〒 電話	
	職    業		
団 体	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成                      年    月    日	
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード

  

<箸取り>  
馬に乗った子どもが参籠に用いた箸を集める



(飯舘村教育委員会)



(飯舘村教育委員会)